

# 安曇野市の財政状況

【令和7年4月1日から令和7年9月30日】

- 令和7年度上半期の予算概要と予算執行状況、公営企業会計の状況
- 令和6年度決算概況

総務部財政課

## 目 次

1	上半期の予算概要	
(1)	上半期の予算状況	1
(2)	一般会計での上半期の予算状況	1
(3)	一般会計での令和7年9月補正予算後の歳入・歳出内訳	2
2	上半期の予算執行状況	
(1)	会計別予算の執行状況	4
(2)	一般会計予算の執行状況	5
3	財産、地方債の状況	
(1)	上半期の基金の状況	6
(2)	上半期の地方債状況	7
4	令和6年度の決算状況	
(1)	会計別決算状況	8
(2)	一般会計決算状況	8
(3)	令和6年度一般会計決算の内訳	9
公営企業の業務状況		
5	水道事業の概要	
(1)	業務量	11
(2)	建設改良費等	11
6	水道事業会計の経理状況	
(1)	収益的収支	12
(2)	資本的収支	12
(3)	水道事業の損益状況	13
7	下水道事業の概要	
(1)	業務量	14
(2)	建設改良費等	14
8	下水道事業会計の経理状況	
(1)	収益的収支	15
(2)	資本的収支	15
(3)	下水道事業の損益状況	16
9	令和6年度安曇野市上下水道事業 決算概要	17

1 上半期の予算概要  
(1) 上半期の予算状況

(単位：千円)

会計名	当初予算額	補正予算 6月議会報告	補正予算 6月議会議決	補正予算 6月議会追加議決	補正予算 9月議会報告	補正予算 9月議会議決	上半期 予算額
一般会計	50,250,000	20,000	723,000	38,000		1,460,000	52,491,000
国民健康保険特別会計	9,391,481					72,048	9,463,529
後期高齢者医療特別会計	1,704,684					48,329	1,753,013
介護保険特別会計	10,230,754		700		2,000	208,734	10,442,188
上川手山林財産区特別会計	1,831					1,309	3,140
北の沢山林財産区特別会計	791						791
有明山林財産区特別会計	774						774
富士尾沢山林財産区特別会計	701						701
穂高山林財産区特別会計	731						731
産業団地造成事業特別会計	2,243					132	2,375
有明荘特別会計	29,971					△ 21,681	8,290
合計	71,613,961	20,000	723,700	38,000	2,000	1,768,871	74,166,532

法適用企業会計

(単位：千円)

会計名	当初予算額	補正予算 6月議会報告	補正予算 6月議会議決	補正予算 6月議会追加議決	補正予算 9月議会報告	補正予算 9月議会議決	上半期 予算額
水道事業	収益的収入	2,263,773					2,263,773
	収益的支出	2,073,159				6,140	2,079,299
	資本的収入	276,030				6,104	282,134
	資本的支出	1,998,654					1,998,654
下水道事業	収益的収入	3,780,829				20,848	3,801,677
	収益的支出	3,761,931				28,864	3,790,795
	資本的収入	2,301,130					2,301,130
	資本的支出	3,376,673					3,376,673

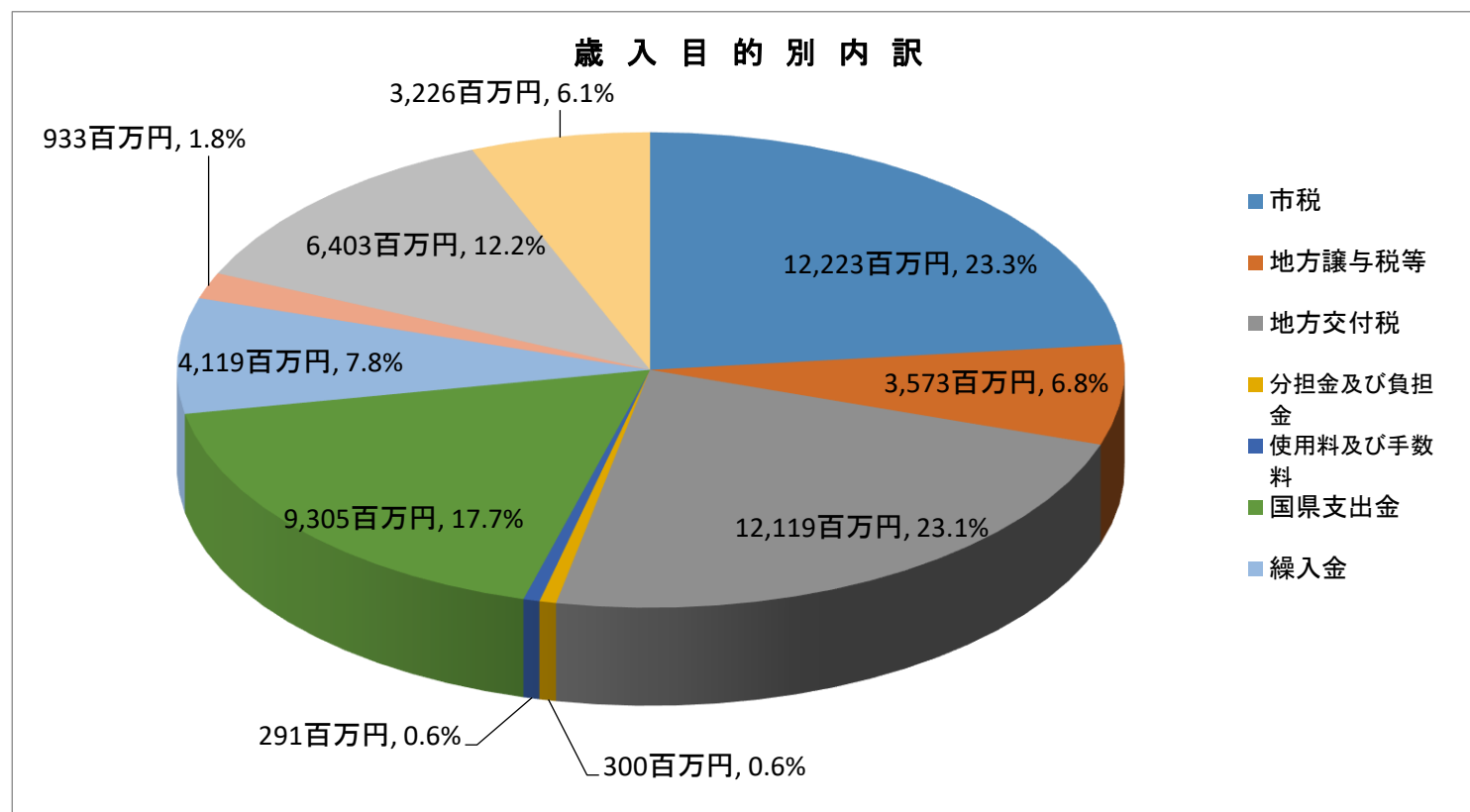
(2) 一般会計での上半期の予算状況

上半期は4回の補正予算を編成しました。各補正予算の主な内容は次のとおりです。

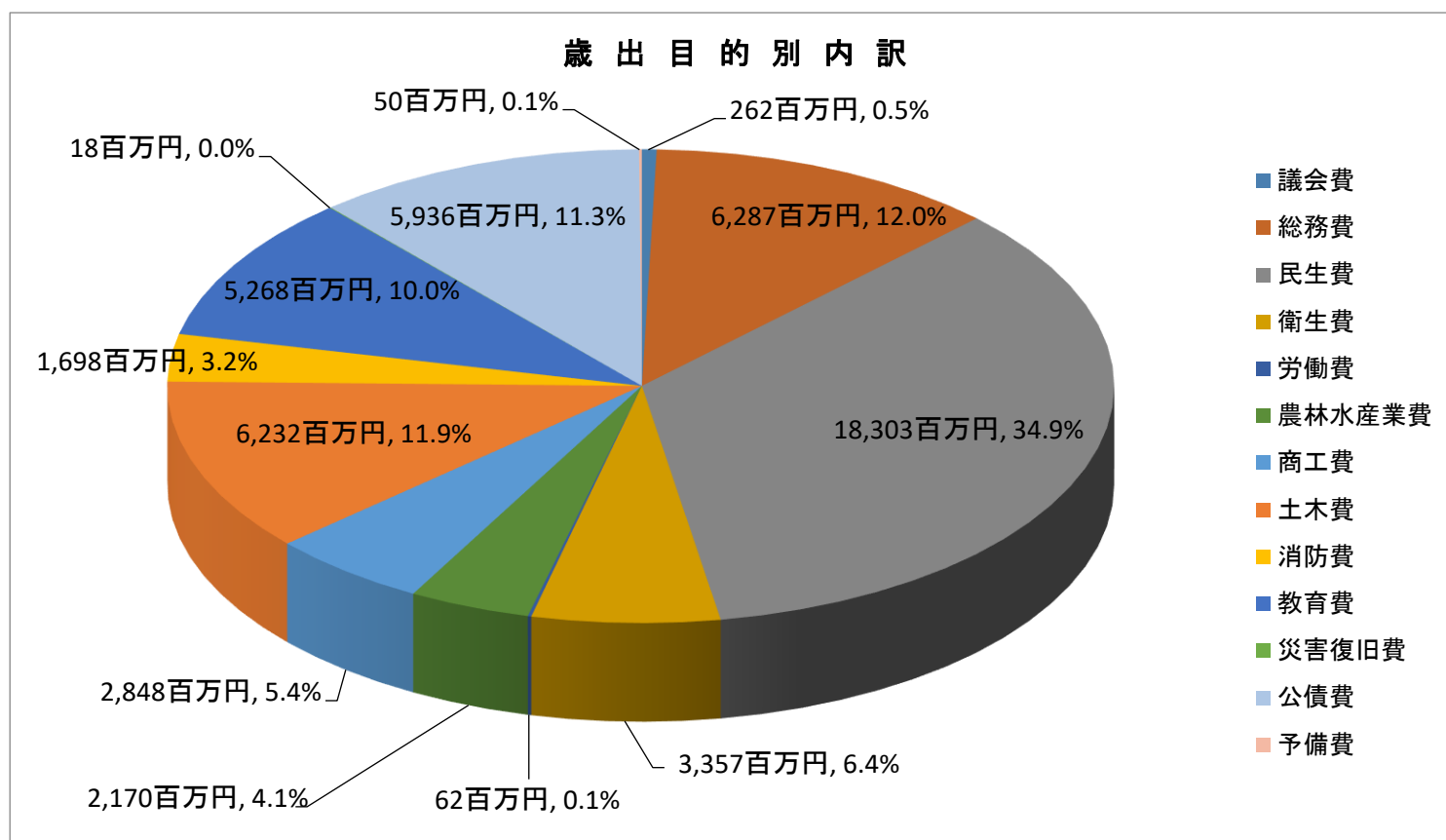
- 専決第1号（6月議会報告）  
林道一の沢線災害復旧工事の安全対策を講ずるための増額補正
- 補正第1号（6月議会議決）  
市民の安全確保や利便性確保のため、緊急性のある補正、国、県等による政策的な事業に係る補正  
当初予算編成時に諸条件が整い次第予算化を検討するとしたもののうち、要件を満たしたものであって、緊急を要するものの補正
- 補正第2号（6月議会追加議決）  
ほりでーゆ～四季の郷における施設修繕工事に必要な経費の補正  
県実施の一般県道槍ヶ岳矢村線（通称：中房線）復旧工事に伴う登山者等への無料送迎に必要な経費の補正
- 補正第3号（9月議会議決）  
本年度の予算執行段階において、見直し等を決定した予算及び入札等により事業費が確定したことによる補正  
事業化の見通しがたったもので、緊急を要するなど、年度途中で事業実施に踏み込む正当な事由がある補正  
市民の安全確保や利便性確保のための事業等であって、既決予算を超える部分の補正

※介護保険特別会計では、専決第1号を実施（9月議会報告）

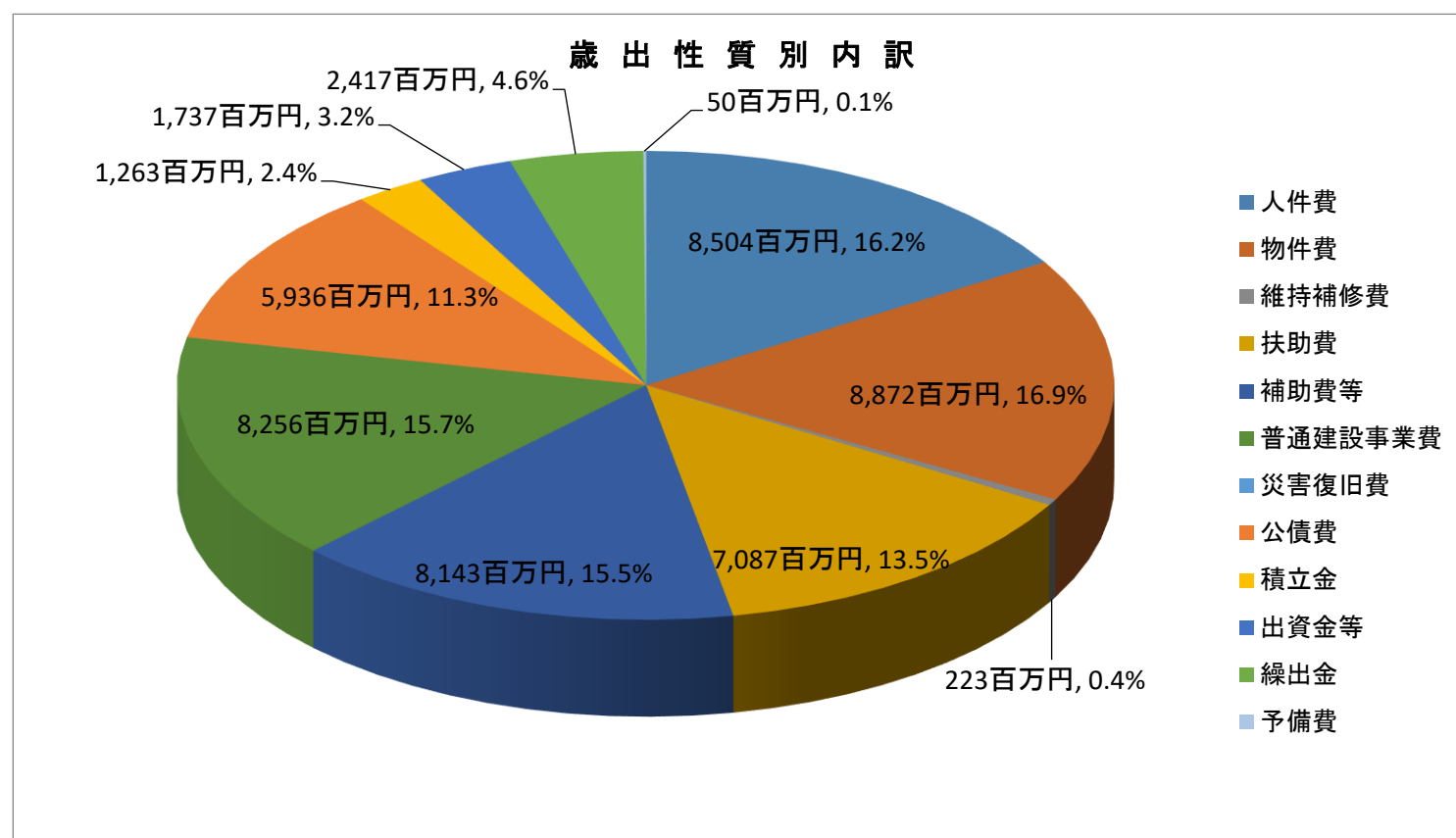
(3) 一般会計での令和7年9月補正予算後の歳入・歳出内訳（総額524億9,100万円）



※ 百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。  
 ※ 構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※ 構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※ 構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。

## 2 上半期の予算執行状況

### (1) 会計別予算の執行状況

#### 歳入予算執行状況

(単位：千円、%)

会計名称	予算現額	調定額	収入累計額	収入率	
				調定比較	収入累計比較
一般会計	55,624,658	31,022,208	22,120,773	55.8%	39.8%
国民健康保険特別会計	9,463,529	9,088,851	4,094,136	96.0%	43.3%
後期高齢者医療特別会計	1,753,013	1,438,715	786,151	82.1%	44.8%
介護保険特別会計	10,442,188	9,128,737	4,357,268	87.4%	41.7%
上川手山林財産区特別会計	3,140	1,284	1,284	40.9%	40.9%
北の沢山林財産区特別会計	791	409	409	51.7%	51.7%
有明山林財産区特別会計	774	366	366	47.3%	47.3%
富士尾沢山林財産区特別会計	701	474	474	67.6%	67.6%
穂高山林財産区特別会計	731	480	480	65.7%	65.7%
産業団地造成事業特別会計	2,375	71	71	3.0%	3.0%
有明荘特別会計	8,290	4,670	4,670	56.3%	56.3%
合 計	77,300,190	50,686,265	31,366,082	65.6%	40.6%

※ 千円未満四捨五入等の調整により、数値が一致しないものがあります。

#### 歳出予算執行状況

(単位：千円、%)

会計名称	予算現額	支出負担 行為済額	支出累計額	執行率	
				負担行為比較	支出累計比較
一般会計	55,624,658	32,334,658	21,709,081	58.1%	39.0%
国民健康保険特別会計	9,463,529	5,255,038	3,696,920	55.5%	39.1%
後期高齢者医療特別会計	1,753,013	1,021,321	826,950	58.3%	47.2%
介護保険特別会計	10,442,188	4,305,056	4,213,068	41.2%	40.3%
上川手山林財産区特別会計	3,140	0	0	0.0%	0.0%
北の沢山林財産区特別会計	791	32	23	4.0%	2.9%
有明山林財産区特別会計	774	32	18	4.1%	2.3%
富士尾沢山林財産区特別会計	701	18	18	2.6%	2.6%
穂高山林財産区特別会計	731	18	18	2.5%	2.5%
産業団地造成事業特別会計	2,375	0	0	0.0%	0.0%
有明荘特別会計	8,290	6,591	3,368	79.5%	40.6%
合 計	77,300,190	42,922,764	30,449,464	55.5%	39.4%

※ 千円未満四捨五入等の調整により、数値が一致しないものがあります。

## (2)一般会計予算の執行状況

### 歳入予算執行状況

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額	調定額	収入累計	収入率	
				調定比較	収入累計比較
1 市税	12,223,373	12,696,229	6,825,973	103.9%	55.8%
2 地方譲与税	539,189	146,715	146,715	27.2%	27.2%
3 利子割交付金	6,000	7,772	7,772	129.5%	129.5%
4 配当割交付金	59,000	19,439	19,439	32.9%	32.9%
5 株式等譲渡割交付金	104,000	0	0	0.0%	0.0%
6 法人事業税交付金	217,000	110,926	110,926	51.1%	51.1%
7 地方消費税交付金	2,440,000	1,516,411	1,516,411	62.1%	62.1%
8 ゴルフ場利用税交付金	34,000	13,492	13,492	39.7%	39.7%
9 環境性能割交付金	64,000	19,693	19,693	30.8%	30.8%
10 地方特例交付金	109,659	109,659	109,659	100.0%	100.0%
11 地方交付税	12,119,153	8,556,146	8,556,146	70.6%	70.6%
12 交通安全対策交付金	11,900	5,441	5,441	45.7%	45.7%
13 分担金及び負担金	299,865	213,865	100,078	71.3%	33.4%
14 使用料及び手数料	291,356	196,852	136,924	67.6%	47.0%
15 国庫支出金	7,493,695	3,992,816	1,962,377	53.3%	26.2%
16 県支出金	2,959,334	1,087,453	752,553	36.7%	25.4%
17 財産収入	52,610	18,335	16,079	34.9%	30.6%
18 寄附金	621,400	247,250	245,029	39.8%	39.4%
19 繰入金	4,127,805	4,295	4,273	0.1%	0.1%
20 繰越金	1,230,558	1,230,558	1,230,558	100.0%	100.0%
21 諸収入	2,539,461	828,861	341,235	32.6%	13.4%
22 市債	8,081,300	0	0	0.0%	0.0%
合 計	55,624,658	31,022,208	22,120,773	55.8%	39.8%

※ 千円未満四捨五入等の調整により、数値が一致しないものがあります。

### 歳出予算執行状況

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額	支出負担 行為済額	支出累計額	執行率	
				負担行為比較	支出累計比較
1 議会費	261,823	130,133	126,047	49.7%	48.1%
2 総務費	6,297,155	2,771,219	2,063,457	44.0%	32.8%
3 民生費	18,800,753	10,948,106	8,319,696	58.2%	44.3%
4 衛生費	3,390,822	1,794,172	1,101,721	52.9%	32.5%
5 労働費	61,834	56,999	56,508	92.2%	91.4%
6 農林水産業費	2,195,626	1,334,830	653,647	60.8%	29.8%
7 商工費	2,853,291	2,238,446	1,854,592	78.5%	65.0%
8 土木費	6,557,354	4,419,746	2,100,790	67.4%	32.0%
9 消防費	1,697,577	1,408,490	731,341	83.0%	43.1%
10 教育費	7,479,321	5,011,885	2,517,390	67.0%	33.7%
11 災害復旧費	52,738	36,740	0	69.7%	0.0%
12 公債費	5,935,695	2,183,892	2,183,892	36.8%	36.8%
13 予備費	40,669	0	0	0.0%	0.0%
合 計	55,624,658	32,334,658	21,709,081	58.1%	39.0%

※ 千円未満四捨五入等の調整により、数値が一致しないものがあります。

### 3 財産、地方債の状況

#### (1) 上半期の基金状況（9月補正後）

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和7年度（見込額）				
	年度末 現在高	積立額	積立利子	積立額計	繰入額	年度末 現在高
財政調整基金	5,370,582	467,000	9,944	476,944	1,321,874	4,525,652
減債基金	3,008,696	0	5,732	5,732	1,178,000	1,836,428
公共施設整備基金	5,145,673	0	9,929	9,929	660,000	4,495,602
地域振興基金	2,154,646	0	4,223	4,223	184,202	1,974,667
分収造林事業基金	7,396	0	8	8	0	7,404
旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	93,059	61	183	244	2,837	90,466
旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金	5,443	8	11	19	0	5,462
国際交流基金	15,561	0	30	30	682	14,909
福祉基金	267,963	20,000	522	20,522	18,876	269,609
ふるさと・水と土保全基金	41,593	0	0	0	0	41,593
豊科安曇野の里基金	1	5,400	1	5,401	4,046	1,356
天蚕振興基金	3,854	0	8	8	0	3,862
三郷農林漁業体験実習館基金	1	19,060	1	19,061	5,607	13,455
堀金産地形成促進施設基金	8,870	2,340	15	2,355	2,787	8,438
堀金観光開発基金	27,519	53,970	65	54,035	61,226	20,328
森林環境譲与税基金	99,653	31,189	140	31,329	27,789	103,193
山岳環境整備基金	28,142	0	65	65	7,695	20,512
青少年育成基金	38	0	1	1	0	39
青少年交流事業支援基金	16,505	0	13	13	0	16,518
文化振興基金	38,790	14,000	62	14,062	15,408	37,444
名誉市民田淵行男顕彰基金	1,734	0	4	4	1,729	9
入学準備金貸付基金	80,197	5,710	174	5,884	9,700	76,381
公式スポーツ施設整備基金	274,632	0	508	508	0	275,140
ちくに生きものみらい基金	48,284	0	92	92	1,712	46,664
霊園基金	154,293	8,043	260	8,303	13,000	149,596
ふるさと寄付金積立金	2,605,865	600,000	4,578	604,578	600,000	2,610,443
土地開発基金	253,958	0	372	372	0	254,330
	(うち現金)	201,050	0	372	0	201,422
	(うち土地)	52,909	0	0	0	52,909
国民健康保険支払準備基金	285,627	63,000	750	63,750	210,000	139,377
上川手財産区基金	16,255	690	29	719	1,309	15,665
北の沢山林財産区基金	11,690	280	22	302	200	11,792
有明山林財産区基金	36,958	270	64	334	0	37,292
富士尾沢山林財産区基金	4,444	203	8	211	0	4,655
穂高山林財産区基金	3,648	174	7	181	0	3,829
介護保険支払準備基金	1,224,136	55,573	2,115	57,688	128,385	1,153,439
基金合計	21,335,706	1,346,971	39,936	1,386,907	4,457,064	18,265,550

※ 千円未満四捨五入により、合計額は一致しません。



(2) 上半期の地方債状況

一般会計

(単位：千円)

	前々年度末 現在高	前年度末 現在高見込額	増減内訳		令和7年度末 現在高見込
			借入額	元金償還額	
1 普通債	22,272,798	24,095,341	5,602,600	3,629,170	26,068,771
1 総務債	2,507,927	2,018,339	4,900	588,586	1,434,653
2 民生債	4,821,084	4,807,025	1,877,700	524,052	6,160,673
3 衛生債	3,753,219	3,431,902	321,800	288,394	3,465,308
4 労働債					
5 農林債	290,997	481,735	417,000	109,837	788,898
6 商工債	740,940	702,681	108,200	102,069	708,812
7 土木債	4,688,200	4,973,888	1,833,500	718,751	6,088,637
8 消防債	295,640	354,330	224,300	61,575	517,055
9 教育債	5,174,791	7,325,441	815,200	1,235,906	6,904,735
2 災害復旧債	62,205	56,122		6,120	50,002
1 土木債	52,300	47,233		5,103	42,130
2 農林債	9,905	8,889		1,017	7,872
3 その他	13,841,746	12,512,064	800,000	2,156,998	11,155,066
1 減収補てん債	107,685	101,376		6,312	95,064
2 減税補てん債	25,876	18,515		8,885	9,630
3 臨時税収補てん債					
4 臨時財政対策債	13,708,185	12,392,173	800,000	2,141,801	11,050,372
合 計	36,176,749	36,663,527	6,402,600	5,792,288	37,273,839

※予算書から抜粋した地方債の見込み額のため、繰越予算等による次年度借入があれば年度末残高は変動します。

#### 4 令和6年度の決算状況

##### (1)会計別決算状況

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	実質収支	伸 率
一般会計	51,038,020	49,807,462	932,866	-15.3%
国民健康保険特別会計	9,386,862	9,262,296	124,565	54.9%
後期高齢者医療特別会計	1,677,927	1,633,356	44,571	24.5%
介護保険特別会計	10,351,523	10,145,473	206,049	-41.0%
上川手山林財産区特別会計	2,410	1,136	1,274	15.4%
北の沢山林財産区特別会計	642	233	409	-41.3%
有明山林財産区特別会計	3,207	2,841	365	-2.2%
富士尾沢山林財産区特別会計	685	211	474	23.0%
穂高山林財産区特別会計	770	290	479	-0.8%
産業団地造成事業特別会計	4,619	4,547	71	15.5%
有明荘特別会計	16,193	16,187	6	16.7%

##### (2)一般会計決算状況

(単位：千円)

区分		令和6年度	令和5年度	比 較	伸 率
歳入総額	A	51,038,020	50,444,794	593,226	1.2%
歳出総額	B	49,807,462	49,287,216	520,246	1.1%
歳入歳出差引額	C（A－B）	1,230,558	1,157,578	72,980	6.3%
翌年度へ繰越すべき財源	継続費逡次繰越額	0	0	0	0.0%
	繰越明許費繰越額	219,693	67,791	151,902	224.1%
	事故繰越繰越額	77,999	13,963	64,036	458.6%
	計 D	297,692	81,754	215,938	264.1%
実質収支	E（C－D）	932,866	1,075,824	△ 142,958	-13.3%
単年度収支	F	△ 142,958	△ 256,488	113,530	-44.3%
積立金	G	550,843	676,550	△ 125,707	-18.6%
繰上げ償還金	H	0	0	0	0.0%
基金取り崩し額	I	548,707	669,530	△ 120,823	-18.0%
実質単年度収支	J（F＋G＋H－I）	△ 140,822	△ 249,468	108,646	-43.6%

(3) 令和6年度一般会計決算の内訳

○歳入決算の状況

(単位：千円)

区分	令和6年度	令和5年度	比較	伸率	構成比	
					6年度	5年度
1 市税	12,320,687	12,726,895	△ 406,208	-3.2%	24.1%	25.2%
2 地方譲与税	508,899	505,275	3,624	0.7%	1.0%	1.0%
3 利子割交付金	5,261	3,821	1,440	37.7%	0.0%	0.0%
4 配当割交付金	94,632	70,079	24,553	35.0%	0.2%	0.1%
5 株式等譲渡割交付金	126,054	69,814	56,240	80.6%	0.2%	0.1%
6 法人事業税交付金	208,013	192,268	15,745	8.2%	0.4%	0.4%
7 地方消費税交付金	2,425,328	2,397,756	27,572	1.1%	4.8%	4.8%
8 ゴルフ場利用税交付金	35,591	37,586	△ 1,995	-5.3%	0.1%	0.1%
9 環境性能割交付金	54,773	43,124	11,649	27.0%	0.1%	0.1%
10 地方特例交付金	556,021	119,044	436,977	367.1%	1.1%	0.2%
11 地方交付税	12,564,858	12,182,458	382,400	3.1%	24.6%	24.2%
12 交通安全対策交付金	10,725	11,451	△ 726	-6.3%	0.0%	0.0%
13 分担金及び負担金	191,427	310,130	△ 118,703	-38.3%	0.4%	0.6%
14 使用料及び手数料	463,112	496,805	△ 33,693	-6.8%	0.9%	1.0%
15 国庫支出金	5,883,529	6,284,048	△ 400,519	-6.4%	11.5%	12.5%
16 県支出金	2,720,103	2,810,002	△ 89,899	-3.2%	5.3%	5.6%
17 財産収入	133,479	71,707	61,772	86.1%	0.3%	0.1%
18 寄附金	667,203	600,526	66,677	11.1%	1.3%	1.2%
19 繰入金	1,756,762	1,632,591	124,171	7.6%	3.4%	3.2%
20 繰越金	1,157,578	1,497,482	△ 339,904	-22.7%	2.3%	3.0%
21 諸収入	3,044,518	3,030,420	14,098	0.5%	6.0%	6.0%
22 市債	6,109,467	5,351,512	757,955	14.2%	12.0%	10.6%
合 計	51,038,020	50,444,794	593,226	1.2%	100.0%	100.0%

○目的別

(単位：千円)

区分	令和6年度	令和5年度	比較	伸率	構成比	
					6年度	5年度
1 議会費	242,062	228,337	13,725	6.0%	0.5%	0.5%
2 総務費	5,814,893	6,114,198	△ 299,305	-4.9%	11.7%	12.4%
3 民生費	16,189,563	17,102,618	△ 913,055	-5.3%	32.5%	34.7%
4 衛生費	2,715,230	2,986,741	△ 271,511	-9.1%	5.5%	6.1%
5 労働費	61,369	69,674	△ 8,305	-11.9%	0.1%	0.1%
6 農林水産業費	1,971,640	1,617,115	354,525	21.9%	4.0%	3.3%
7 商工費	3,369,203	3,263,226	105,977	3.2%	6.8%	6.6%
8 土木費	4,631,966	5,278,724	△ 646,758	-12.3%	9.3%	10.7%
9 消防費	1,550,691	1,443,980	106,711	7.4%	3.1%	2.9%
10 教育費	5,997,879	4,988,826	1,009,053	20.2%	12.0%	10.1%
11 災害復旧費	8,228	455,597	△ 447,369	-98.2%	0.0%	0.9%
12 公債費	7,254,738	5,738,180	1,516,558	26.4%	14.6%	11.6%
合 計	49,807,462	49,287,216	520,246	1.1%	100.0%	100.0%

歳出決算の状況

○性質別

(単位：千円)

区分	令和6年度	令和5年度	比較	伸率	構成比	
					5年度	4年度
1 人件費	7,391,266	6,926,455	464,811	6.7%	14.8%	14.1%
2 扶助費	7,029,235	6,908,801	120,434	1.7%	14.1%	14.0%
3 公債費	7,254,738	5,738,180	1,516,558	26.4%	14.6%	11.6%
4 物件費	8,009,608	7,013,938	995,670	14.2%	16.1%	14.2%
5 維持補修費	190,007	148,022	41,985	28.4%	0.4%	0.3%
6 補助費等	6,668,513	6,867,499	△ 198,986	-2.9%	13.4%	13.9%
7 繰出金	3,734,727	3,720,599	14,128	0.4%	7.5%	7.5%
8 積立出資金	3,404,654	4,725,137	△ 1,320,483	-27.9%	6.8%	9.6%
9 普通建設事業費	6,116,486	6,782,988	△ 666,502	-9.8%	12.3%	13.8%
11 災害復旧費	8,228	455,597	△ 447,369	-98.2%	0.0%	0.9%
合 計	49,807,462	49,287,216	520,246	1.1%	100.0%	100.0%

※上記の性質別決算額については、地方財政状況調査に準じて集計したものです。

## 公営企業の業務状況(令和7年4月から令和7年9月まで)

### 5 水道事業の概要

#### (1) 業務量

事 項	令和7年度 上半期	令和6年度 上半期	比 較	
			増減	比率
給水戸数	41,716 戸	41,396 戸	320 戸	100.8%
期間総給水量	4,723,973 m <sup>3</sup>	4,703,423 m <sup>3</sup>	20,550 m <sup>3</sup>	100.4%
1日平均給水量	25,814 m <sup>3</sup>	25,701 m <sup>3</sup>	113 m <sup>3</sup>	100.4%

#### (2)建設改良費等

令和4年度に改定した第2次安曇野市水道ビジョンに基づき、事業を実施しており、主要管路布設工事は、災害に強い施設の整備を目標とした、重要給水施設と拠点配水池を結ぶ専用管路の耐震化整備で、今年度は岩原低区配水池場内整備及び配水池周辺の整備 400m を実施しています。

既存管路(老朽管)更新事業は、市内 10 路線 3,180mを実施、非常用発電機設置事業は、上原配水池への設置工事を、既存施設更新事業では、施設の正常な運転を維持するため、岩原低区配水池場内整備工事他を実施しています。

また、水道法と安曇野市水道事業水質検査計画に基づく、浄水と原水の水質検査を実施しています。

## 6 水道事業会計の経理状況

令和7年度（令和7年9月末現在）水道事業会計予算の執行状況は以下のとおりです。

### （１） 収益的収支

#### ア 収入

（単位：円、税込）

項 目		予 算 額	調 定 額	執行率（％）
営業収益	給水収益	1,829,754,000	924,707,791	50.54%
	受託工事収益	0	0	0.00%
	その他営業収益	113,980,000	16,784,610	14.73%
営業外収益	受取利息及び配当金	2,585,000	1,489,889	57.64%
	雑収益	1,071,000	1,148,510	107.24%
	他会計繰入金	59,361,000	59,361,152	100.00%
	長期前受金戻入	257,022,000	0	0.00%
合 計		2,263,773,000	1,003,491,952	44.33%

#### イ 支出

（単位：円、税込）

項 目		予 算 額	支出負担行為済額	執行率（％）
営業費用	原水及び浄水費	425,559,000	129,235,253	30.37%
	配水及び給水費	333,538,000	141,071,756	42.30%
	業務費	112,873,000	93,703,797	83.02%
	総係費	73,749,000	29,070,462	39.42%
	減価償却費	1,045,315,000	0	0.00%
	資産減耗費	17,065,000	1,639,000	9.60%
	その他営業費用	0	0	0.00%
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	58,698,000	30,410,410	51.81%
	消費税及び地方消費税	1,000,000	0	0.00%
	過年度損益修正損	1,501,000	680,690	45.35%
	その他特別損失	1,000	0	0.00%
予 備 費		10,000,000	0	0.00%
合 計		2,079,299,000	425,811,368	20.48%

### （２） 資本的収支

#### ア 収入

（単位：円、税込）

項 目		予 算 額	調 定 額	執行率（％）
企 業 債		240,000,000	0	0.00%
負 担 金		148,907,800	37,842,300	25.41%
補 助 金		6,104,000	0	0.00%
合 計		395,011,800	37,842,300	9.58%

#### イ 支出

（単位：円、税込）

項 目		予 算 額	支出負担行為済額	執行率（％）
建設改良費	配水設備工事費	1,961,505,000	1,298,770,400	66.21%
	量水器費	1,170,000	464,665	39.71%
	固定資産購入費	935,000	386,400	41.33%
	改良費	295,000	0	0.00%
企 業 債 償 還 金		554,675,000	273,111,465	49.24%
合 計		2,518,580,000	1,572,732,930	62.45%

(3) 水道事業の損益状況（令和7年9月末現在）

水道事業の損益計算書（上半期分）は次のとおりです。

損 益 計 算 書  
(令和7年4月1日から令和7年9月30日まで)

(単位:円、税抜)

営業収益	941,492,401
給 水 収 益	924,707,791
そ の 他 営 業 収 益	16,784,610
営業外収益	190,510,551
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,489,889
雑 収 益	1,148,510
他 会 計 補 助 金	59,361,152
長 期 前 受 金 戻 入	128,511,000
(長期前受金戻入については、予算額の2分の1を計上)	
収 入 計	1,132,002,952

(単位:円、税抜)

営業費用	917,377,768
原 水 及 び 浄 水 費	129,235,253
配 水 及 び 給 水 費	141,071,756
受 託 工 事 費	0
業 務 費	93,703,797
総 係 費	29,070,462
減 価 償 却 費	522,657,500
(減価償却費については、予算額の2分の1を計上)	
資 産 減 耗 費	1,639,000
営業外費用	31,091,100
支払利息及び企業債取扱諸費	30,410,410
過 年 度 損 益 修 正 損	680,690
費 用 計	948,468,868

当年度純利益	183,534,084 円
前年度繰越利益剰余金	4,652 円
その他未処分利益剰余金変動額	0 円
当年度未処分利益剰余金	183,538,736 円

## 7 下水道事業の概要

### (1)業務量

事 項	令和7年度 上半期	令和6年度 上半期	比 較	
			増減	比率
排水戸数	33,459 戸	32,946 戸	513 戸	101.6%
期間総汚水量	4,267,637 m <sup>3</sup>	4,247,388 m <sup>3</sup>	20,249 m <sup>3</sup>	100.5%
1日平均汚水量	23,320 m <sup>3</sup>	23,209 m <sup>3</sup>	111 m <sup>3</sup>	100.5%

### (2)建設改良費等

下水道施設の機能を安定的に維持する予防保全型の施設管理を進めるため、施設を点検しながら健全度を判定し、改築更新を計画的に実施することで経費の縮減と平準化を図る「下水道ストックマネジメント計画」を令和2年度に策定しました。

今年度は、健全度判定による評価が低く、更新の必要性が高いマンホールポンプ場の更新工事と緊急度判定による評価が高く、更新、長寿命化の必要性が高い管路工事を実施しています。

単独公共下水道明科処理区と農業集落排水生野地区を犀川安曇野流域下水道安曇野市公共下水道の処理区へ編入し、処理区域の広域化、汚水処理の共同化を進めるため、各処理区の汚水処理施設から排出される汚水を犀川安曇野流域下水道田沢幹線へ接続するための管路工事を実施しています。

また、令和5年度に整備された下水道管渠施設及び排水設備、施設の維持管理履歴データの作成更新業務を進めています。



## 8 下水道事業会計の経理状況

令和7年度（令和7年9月末現在）下水道事業会計の執行状況は以下のとおりです。

### （１）収益的収支

#### ア 収入

（単位：円、税込）

項	目	予 算 額	調 定 額	執行率（％）
営業収益	下水道使用料	1,895,689,000	924,692,934	48.78%
	他会計負担金	2,147,000	0	0.00%
	受託工事収益	47,310,000	3,710,586	7.84%
	その他営業収益	21,529,000	7,967,396	37.01%
営業外収益	他会計負担金	1,068,954,000	1,062,417,237	99.38%
	長期前受金戻入	766,011,000	0	0.00%
	雑収益	37,000	145,900	394.32%
合 計		3,801,677,000	1,998,934,053	52.58%

#### イ 支出

（単位：円、税込）

項	目	予 算 額	支出負担行為済額	執行率（％）
営業費用	管きょ費	1,219,174,000	470,893,981	38.62%
	処理場費	97,973,000	87,424,022	89.23%
	浄化槽費	2,169,000	469,700	21.66%
	農業集落排水費	59,492,000	49,482,018	83.17%
	受託工事費	43,010,000	13,759,460	31.99%
	業務費	10,245,000	3,717,590	
	総係費	114,396,000	11,457,689	10.02%
	減価償却費	1,863,336,000	0	0.00%
	資産減耗費	267,000	0	0.00%
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	330,103,000	168,910,585	51.17%
	消費税及び地方消費税	48,128,000	0	0.00%
	過年度損益修正損	501,000	458,227	91.46%
	その他特別損失	1,000	0	0.00%
予 備 費		2,000,000	0	0.00%
合 計		3,790,795,000	806,573,272	21.28%

### （２）資本的収支

#### ア 収入

（単位：円、税込）

項	目	予 算 額	調 定 額	執行率（％）
企 業 債		1,594,500,000	0	0.00%
負 担 金		298,730,000	301,832,363	101.04%
補 助 金		465,760,000	353,880,000	75.98%
出 資 金		223,900,000	52,500,000	23.45%
合 計		2,582,890,000	708,212,363	27.42%

#### イ 支出

（単位：円、税込）

項	目	予 算 額	支出負担行為済額	執行率（％）
建設改良費	管きょ工事費	994,431,000	501,761,700	50.46%
	農業集落排水工事費	3,300,000	3,300,000	100.00%
	流域下水道事業費	137,669,000	0	0.00%
	排水設備工事費	781,000	176,000	22.54%
企 業 債 償 還 金		2,518,097,000	1,238,812,215	49.20%
合 計		3,654,278,000	1,744,049,915	47.73%

(3) 下水道事業の損益状況（令和7年4月1日から9月30日まで）

下水道事業の損益計算書（上半期分）は次のとおりです。

損 益 計 算 書  
（令和7年4月1日から令和7年9月30日まで）

（単位：円、税抜）

営業収益	936,370,916
下 水 道 使 用 料	924,692,934
受 託 工 事 収 益	3,710,586
そ の 他 営 業 収 益	7,967,396
営業外収益	1,445,568,637
他 会 計 負 担 金	1,062,417,237
長 期 前 受 金 戻 入 （長期前受金戻入については、予算額の2分の1を計上）	383,005,500
雑 収 益	145,900
収 入 計	2,381,939,553

（単位：円、税抜）

営業費用	1,568,872,460
管 き よ 費	470,893,981
処 理 場 費	87,424,022
浄 化 槽 費	469,700
農 業 集 落 排 水 費	49,482,018
受 託 工 事 費	13,759,460
業 務 費	3,717,590
総 係 費	11,457,689
減 価 償 却 費 （減価償却費については、予算額の2分の1を計上）	931,668,000
資 産 減 耗 費	0
営業外費用	169,368,812
支払利息及び企業債取扱諸費	168,910,585
過 年 度 損 益 修 正 損	458,227
費 用 計	1,738,241,272

当年度純利益

643,698,281 円

前年度繰越利益剰余金

24,411 円

その他未処分利益剰余金変動額

0 円

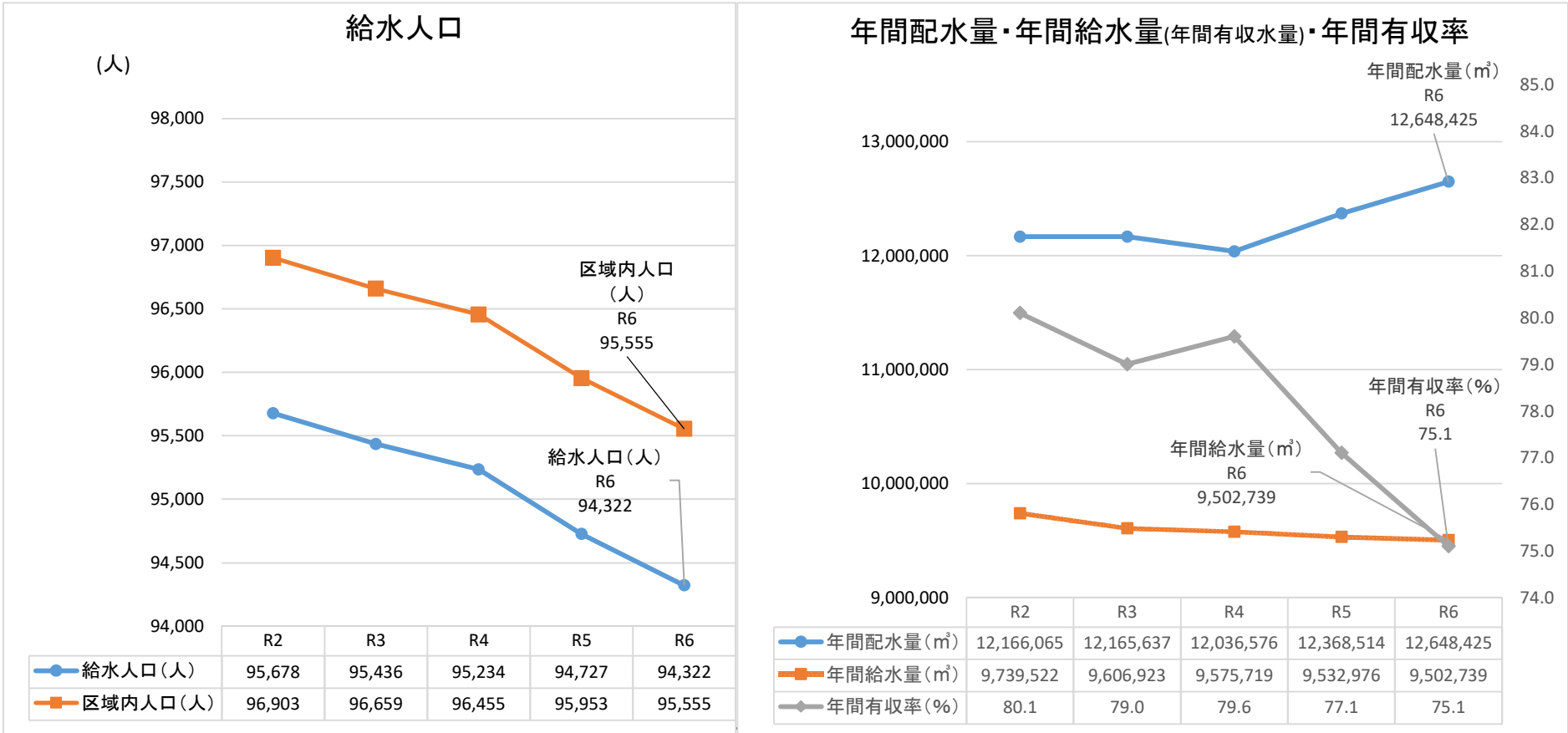
当年度未処分利益剰余金

643,722,692 円

9 令和6年度 安曇野市上下水道事業 決算概要

I 水道事業決算概要

1 業務量（決算書 29ページ）



## 2 収益的収支（損益計算書）（決算書 9～10ページ、29ページ、32～35ページ）

水道水を作り、みなさまへお届けするための収支状況です。

水道水がどのくらい売れて、その水道水を供給するまでにどのくらいの費用がかかっているのかを表しています。

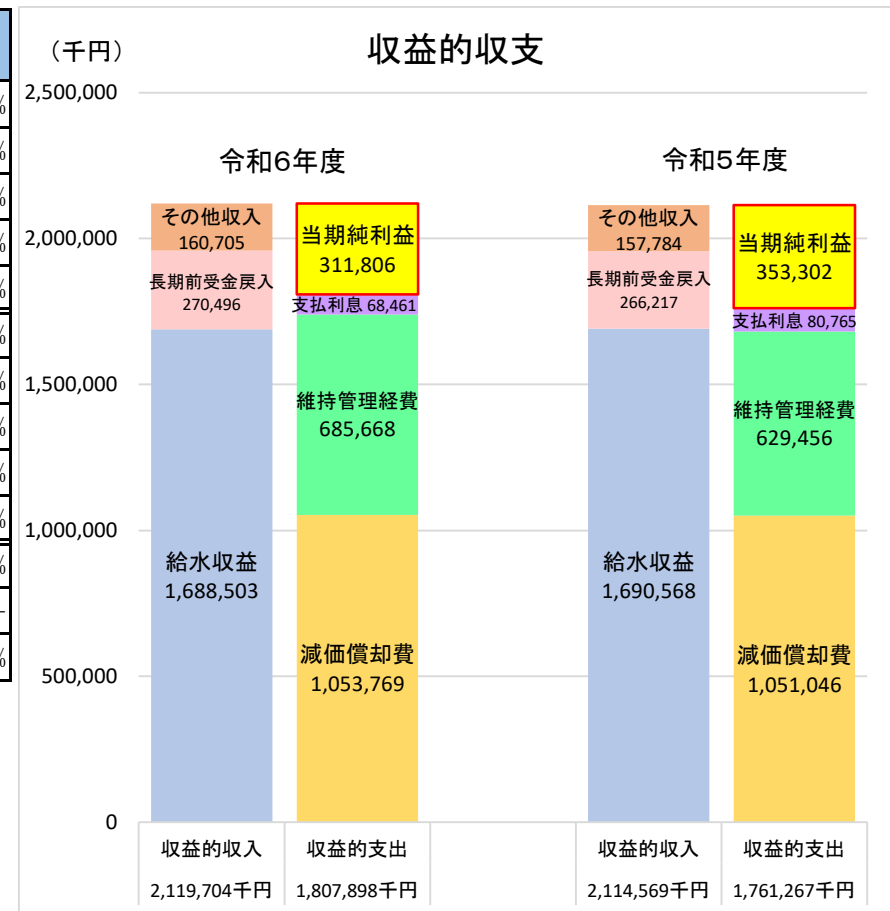
（千円）※消費税抜き

収益的収支	令和6年度	令和5年度	増減	増減率
営業収益	1,786,910	1,785,681	1,229	0.07%
うち給水収益	1,688,503	1,690,568	△ 2,065	△ 0.12%
営業外収益	332,794	328,888	3,906	1.19%
うち長期前受金戻入	270,496	266,217	4,279	1.61%
収益 計 ①	2,119,704	2,114,569	5,135	0.24%
営業費用	1,737,147	1,677,735	59,412	3.54%
うち減価償却費	1,053,769	1,051,046	2,723	0.26%
うち資産減耗費	33,127	6,474	26,653	411.69%
営業外費用	70,751	83,532	△ 12,781	△ 15.30%
費用 計 ②	1,807,898	1,761,267	46,631	2.65%
経常損益 ①-②	311,806	353,302	△ 41,496	△ 11.75%
特別損益	0	0	0	-
純 損 益	311,806	353,302	△ 41,496	△ 11.75%

損益では、総収益が21億1,970万4千円で、総費用は18億789万8千円となり、純損益は3億1,180万6千円の黒字で、前年度に比べ4,149万6千円の減少となりました。

収益は、前年度と比較して収益全体では513万5千円増加となりました。長期前受金戻入の増加が主な原因と考えられます。

費用は、国の電気料金に対する支援縮小や再エネ賦課金の上昇により動力費が増加したことを主な原因として、4,663万1千円増加しました。



### 3 資本的収支（決算書 7～8 ページ）

水道施設の整備と企業債償還を行うための収支状況です。

(千円) ※消費税込み

資本的収支		令和6年度	令和5年度	増減	増減率
資本的収入 (a)		154,833	159,661	△ 4,828	△ 3.02%
	うち企業債	60,000	0	60,000	—
資本的支出 (b)		1,340,645	1,413,056	△ 72,411	△ 5.12%
	うち企業債償還金	568,685	584,514	△ 15,829	△ 2.71%
資本的収支不足額 (a) - (b)		△ 1,185,812	△ 1,253,395	67,583	△ 5.39%
上記 補てん 財源	消費税資本的収支 調整額	66,065	117,621		
	損益勘定留保資金 (※1)	806,647	805,774		
	建設改良積立金	313,100	330,000		

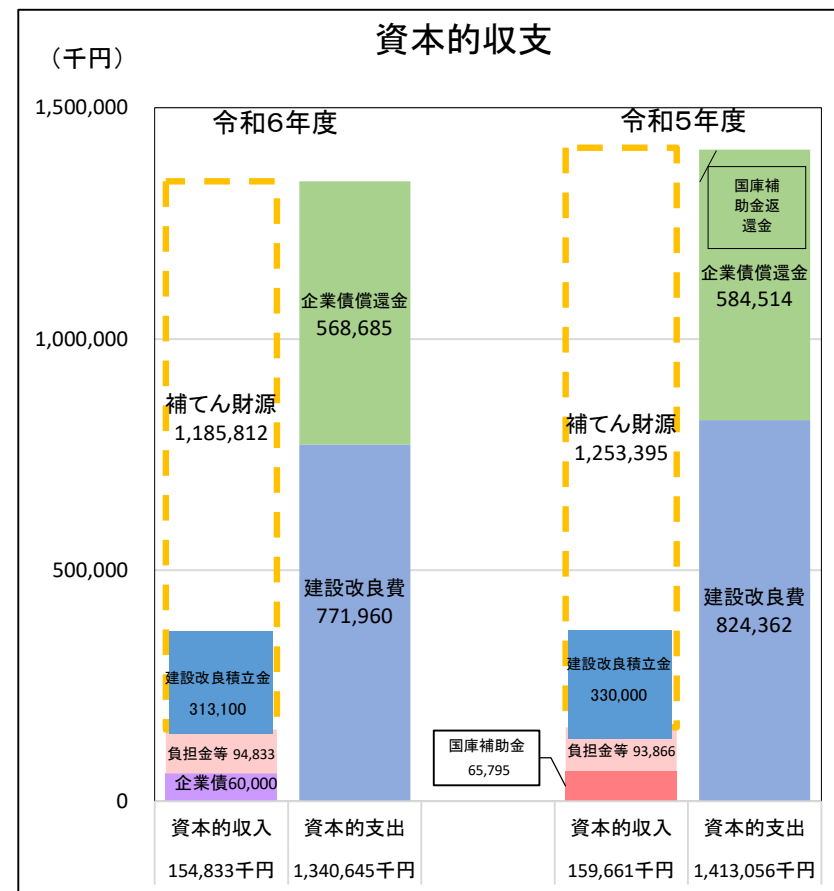
資本的収入は1億5,483万3千円で、前年度より482万8千円減少しました。

これは、移転工事等の負担金の減少によるものです。

資本的支出は13億4,064万5千円で、上原水源地監視装置更新工事等の繰越により前年度より7,241万1千円減少しました。収支差引で不足する11億8,581万2千円は、損益勘定留保資金8億664万7千円、建設改良積立金3億1,310万円の取り崩しなどで補てんしました。

(※1) 損益勘定留保資金

施設の減価償却費など現金の支出を必要としない企業内部で留保される資金



#### 4 貸借対照表（決算書 13～14ページ）

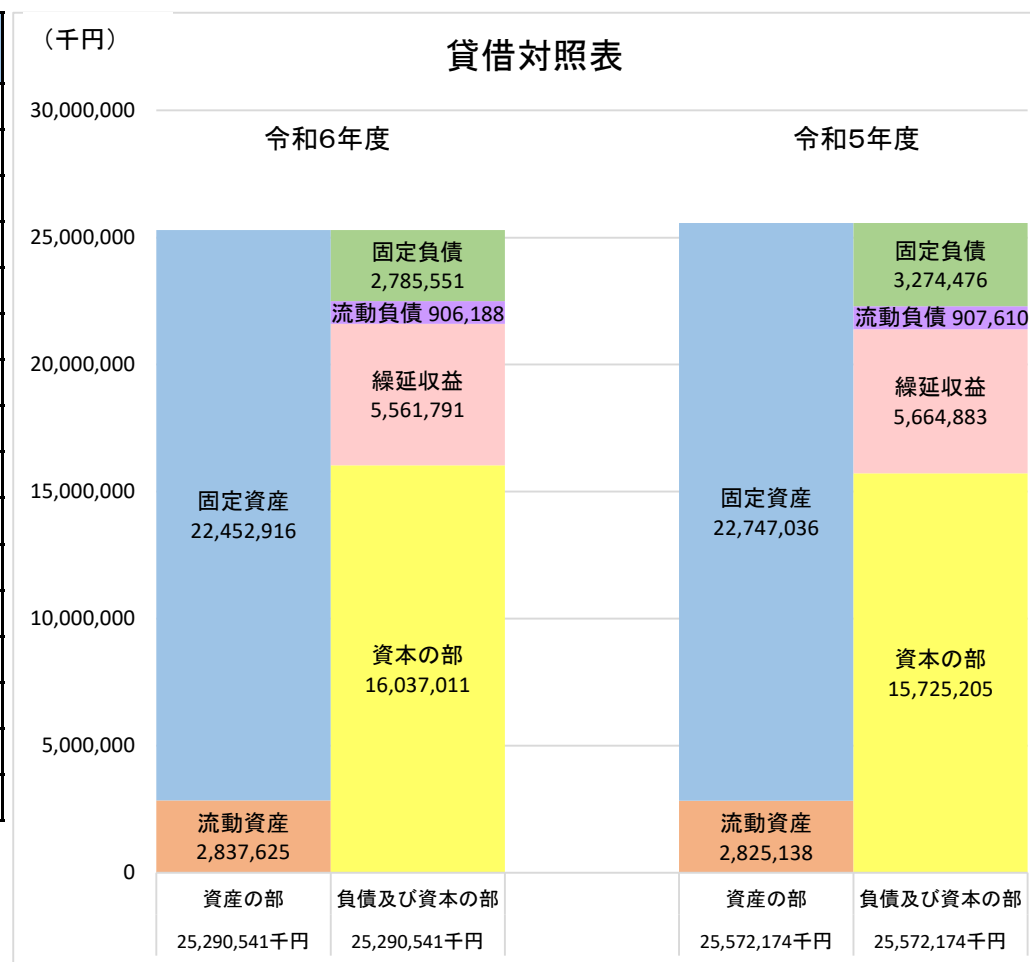
財政状態を表し、保有している財産の状況や、抱えている借入金の状況などを明らかにしています。

(千円)

	令和6年度	令和5年度	増減
資産	25,290,541	25,572,174	△ 281,633
固定資産	22,452,916	22,747,036	△ 294,120
流動資産	2,837,625	2,825,138	12,487
うち現金	2,601,561	2,693,554	△ 91,993
負債	9,253,530	9,846,969	△ 593,439
固定負債	2,785,551	3,274,476	△ 488,925
うち企業債	2,785,551	3,274,476	△ 488,925
流動負債	906,188	907,610	△ 1,422
うち企業債	548,924	568,685	△ 19,761
繰延収益	5,561,791	5,664,883	△ 103,092
資本	16,037,011	15,725,205	311,806
資本金	13,627,496	13,297,496	330,000
剰余金	2,409,515	2,427,709	△ 18,194
資本剰余金	231,165	231,165	0
利益剰余金	2,178,350	2,196,544	△ 18,194
負債＋資本 計	25,290,541	25,572,174	△ 281,633

令和6年度は企業債を6,000万円借入れましたが、企業債償還等により負債は5億9,343万9千円減少しました。

また、前年度決算で取り崩した建設改良積立金の組入れにより資本金は3億3,000万円増加しました。



## 5 キャッシュ・フロー計算書（決算書 31ページ）

1年間の現金収入や現金支出を「業務活動」「投資活動」「財務活動」の3種類に区分けして、現金の流れを表します。

業務活動によるキャッシュ・フローでは、主たる業務活動に伴う現金の増減を表します。プラスになっていることが原則で、多いほど事業活動が順調と言えます。

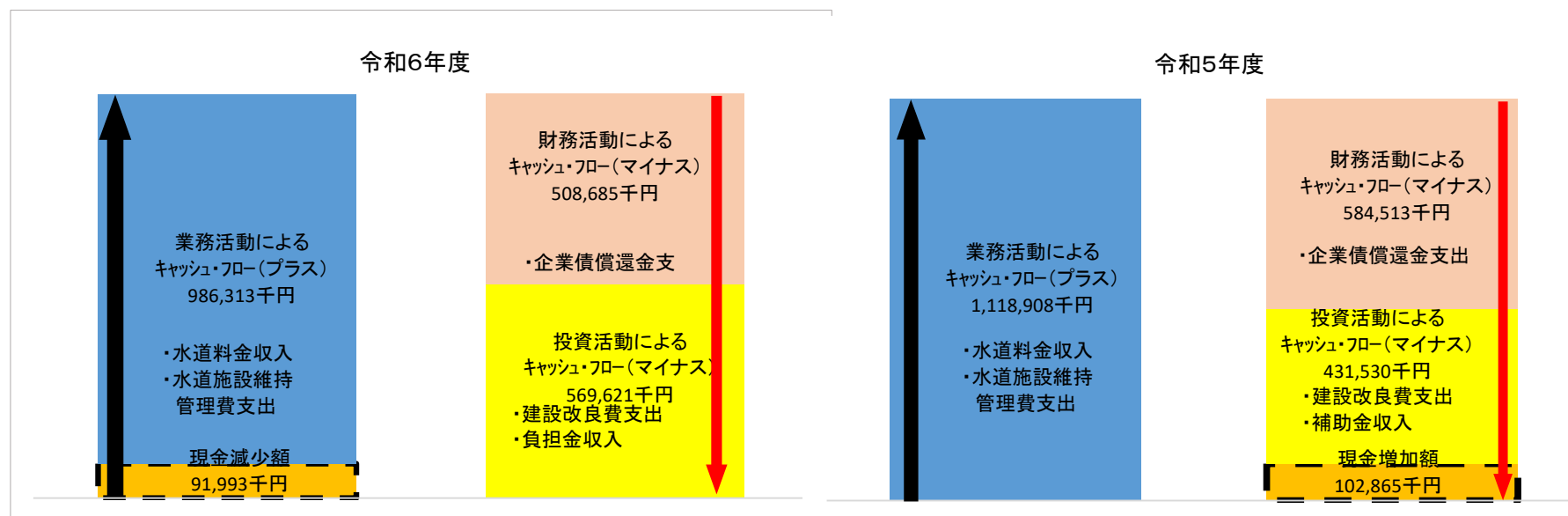
投資活動によるキャッシュ・フローでは、施設の整備や固定資産の取得に伴う現金の増減を表します。通常はマイナスとなります。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、資金調達や企業債の償還に伴う現金の増減を表します。企業債を償還した場合はマイナス、借入れた場合はプラスとなります。

(千円)

	令和6年度	令和5年度	増減
業務活動によるキャッシュ・フロー	986,313	1,118,908	△ 132,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 569,621	△ 431,530	△ 138,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 508,685	△ 584,513	75,828
現金増減額	△ 91,993	102,865	△ 194,858
現金期首残高	2,693,554	2,590,689	102,865
現金期末残高	2,601,561	2,693,554	△ 91,993

業務活動による現金は、9億8,631万3千円でプラス領域のため事業活動は順調と言えます。投資活動による現金は、5億6,962万1千円のマイナスで配水管布設替工事等の建設改良費を主に支出しました。財務活動による現金は、5億868万5千円のマイナスで企業債償還金を支出しました。現金の期末残高は26億156万1千円となりました。

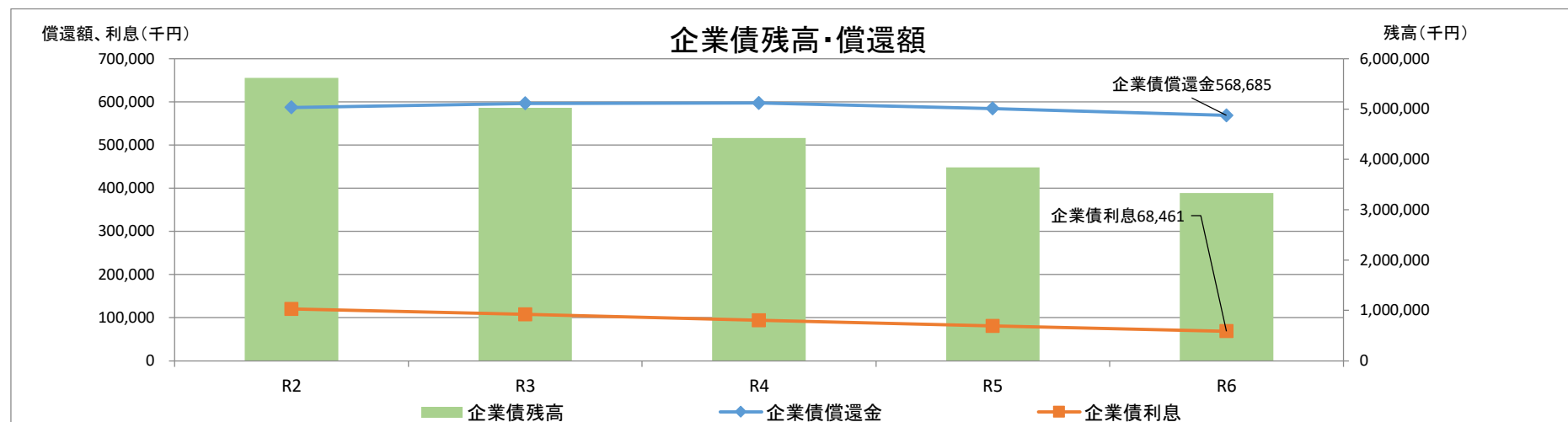


## 6 企業債（決算書 10ページ、30ページ、35ページ、37～38ページ）

(千円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年度末残高	5,621,639	5,025,227	4,427,674	3,843,160	3,334,475
借入額	83,000	83,000	0	0	60,000

6,000千万円の借入れと5億6,868万4千円の元金償還により、令和6年度末の企業債残高は33億3,447万5千円となりました。  
また、企業債利息として、6,846万1千円を支払いました。



## 7 利益剰余金（決算書 11～12ページ）

(千円)

前年度からの繰越利益剰余金 A	9
当年度変動額 B	624,906
当年度純利益	311,806
積立金の取り崩し	313,100
当年度末処分利益剰余金 (C=A+B)	624,915



利益剰余金処分(案) (千円)

建設改良積立金の積立	△ 311,810
資本金への組入れ	△ 313,100
処分額 計 D	△ 624,910

(千円)

翌年度への繰越利益剰余金 (E=C-D)	5
----------------------	---

当年度末処分利益剰余金は、前年度繰越額9千円と当年度純利益3億1,180万6千円、資本金的収支の不足額を補てんするために建設改良積立金を取り崩した3億1,310万円の合計6億2,491万4千円となりました。

剰余金の処分は、市議会での認定議決を受けて実行します。

当年度の利益は、後年度の更新事業の財源に充てるため、建設改良積立金へ積立てます。



## 令和6年度に上水道事業で実施した主な取組みについて

### ①主要管路布設事業

#### 「配水管布設工事」

災害時の避難所や病院等の重要給水施設と拠点配水池を結ぶ主要管路整備を行い、令和6年度は拠点配水池への導水管の耐震化を進めることができました。

管布設状況



●主要管路整備事業 L=413m C=62,238千円（堀金）

### ②既存管路更新事業

#### 「送配水管布設替工事」

老朽化した送・配水管等を地震に強い管種に更新し、漏水の減少及び耐震化を進めています。

管布設状況



●既存管路更新事業 L=2,367m C=369,488千円

### ③濁度計設置事業

#### 「濁度計設置工事」

災害時、井戸内に発生した濁水が配水池内に混入すると安定的な配水が困難となるおそれがあるため、濁度計を設置し、常時監視することにより水質事故を未然に防止することができます。

施工状況



機器調整



濁度計設置及び配管



●濁度計設置工事（上原第2水源地） C=34,650千円

### ④漏水調査業務

#### 「漏水調査」

配水本管や給水管の漏水調査を、多点相関型漏水探知機（データロガ）や音聴調査により実施しました。発見した漏水箇所については早期に修理を行い、漏水の多い路線については、優先的に管路の布設替を実施していきます。

漏水探知機



音聴調査



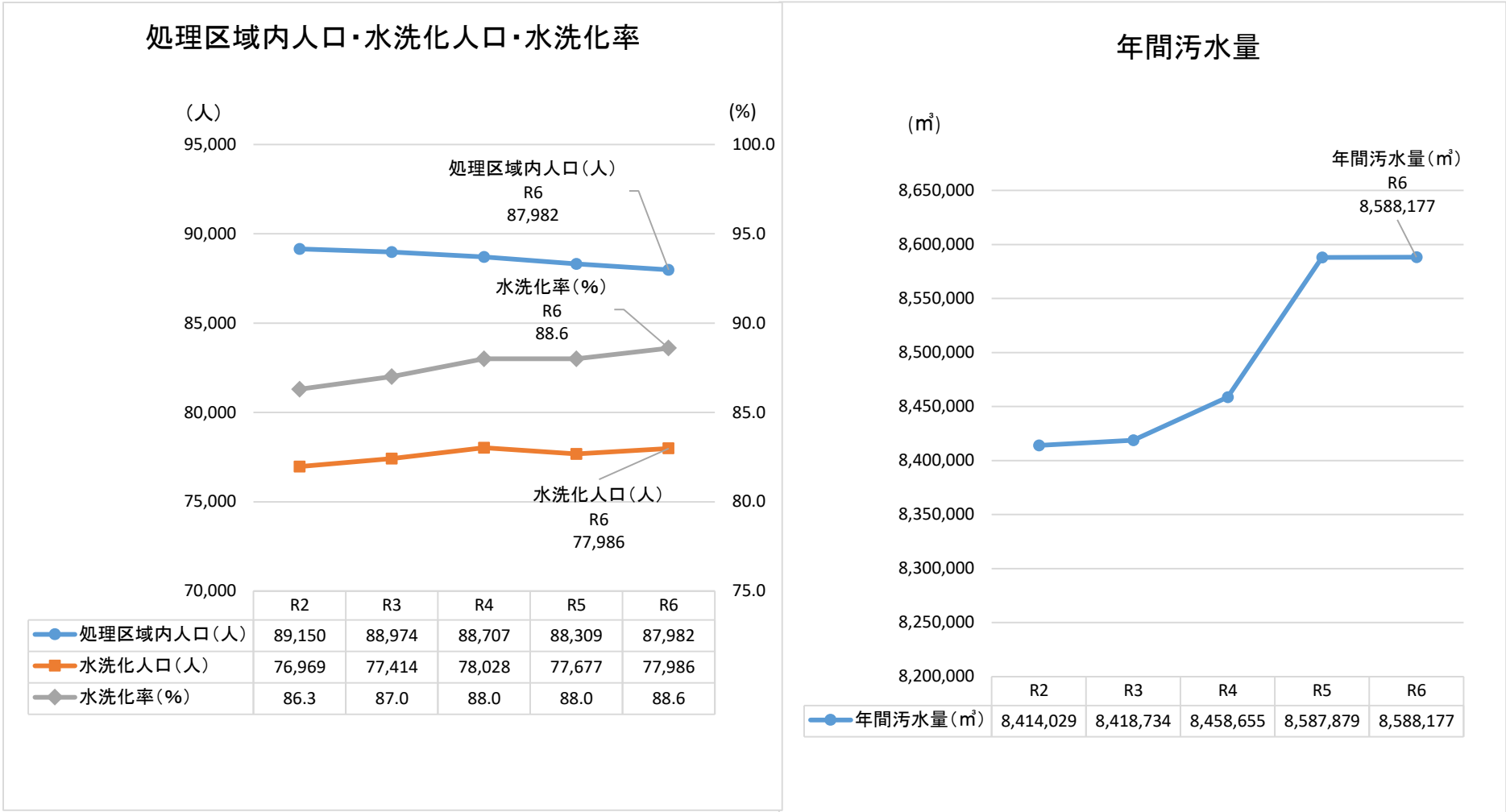
漏水箇所



●漏水調査業務委託 上原配水系一部・岩原高区配水系 C=6,600千円

II 下水道事業決算概要

1 業務量 (決算書 55ページ)



## 2 収益的収支(損益計算書) (決算書 43～44ページ、56ページ、59～62ページ)

使われた水をきれいにして川に流すまでの収支状況です。

下水道がどのくらい使用され、その汚水进行处理するまでにどのくらい費用がかかっているのかを表しています。

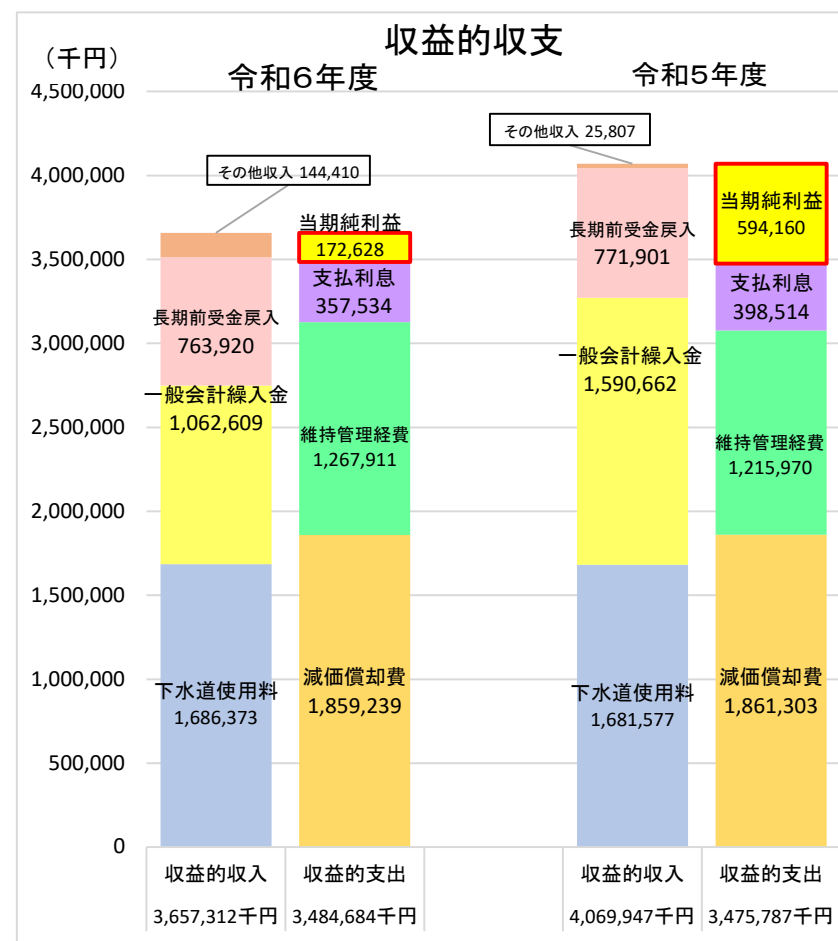
(千円) ※消費税抜き

収益的収支	令和6年度	令和5年度	増減	増減率
営業収益	1,730,419	1,706,292	24,127	1.41%
うち下水道使用料	1,686,373	1,681,577	4,796	0.29%
営業外収益	1,926,893	2,363,655	△ 436,762	△ 18.48%
うち一般会計繰入金	1,062,609	1,590,662	△ 528,053	△ 33.20%
収益計 ①	3,657,312	4,069,947	△ 412,635	△ 10.14%
営業費用	3,125,004	3,076,913	48,091	1.56%
うち減価償却費	1,859,239	1,861,303	△ 2,064	△ 0.11%
営業外費用	359,680	398,874	△ 39,194	△ 9.83%
費用計 ②	3,484,684	3,475,787	8,897	0.26%
経常損益 ①-②	172,628	594,160	△ 421,532	△ 70.95%
特別損益	0	0	0	-
純損益	172,628	594,160	△ 421,532	△ 70.95%

損益では、総収益が36億5,731万2千円で、総費用は34億8,468万4千円となり、純損益は1億7,262万8千円の黒字で、前年度に比べ4億2,153万2千円減少となりました。

収益は、一般会計からの繰入金の見直しなどの影響により4億1,263万5千円減少しました。

費用は、企業債の利息は4,098万円減少しましたが、施設の長寿命化対策事業に係る経費の増加などにより889万7千円増加しました。



### 3 資本的収支（決算書 41～42ページ）

下水道施設の整備と企業債償還を行うための収支状況です。

(千円) ※消費税込み

資本的収支		令和6年度	令和5年度	増減	増減率
資本的収入 (a)		1,730,792	1,270,409	460,383	36.24%
	うち資本費平準化債	655,000	684,000	△ 29,000	△ 4.24%
資本的支出 (b)		3,278,283	2,794,999	483,284	17.29%
	うち企業債償還金	2,502,311	2,516,588	△ 14,277	-0.57%
資本的収支不足額 (a) - (b)		△ 1,547,491	△ 1,524,590	△ 22,901	1.50%
上記補てん財源	消費税資本的収支調整額	19,358	59,781		
	損益勘定留保資金(※1)	933,933	834,809		
	減債積立金	594,200	630,000		

資本的収入は17億3,079万2千円で、国庫補助金及び一般会計からの出資金などの増加により、4億6,038万3千円増加しました。

資本的支出は32億7,828万3千円で、下水道施設統廃合事業など建設改良費の増加により、4億8,328万4千円増加しました。

収支差引で不足する15億4,749万1千円は、損益勘定留保資金9億3,393万3千円と減債積立金5億9,420万円の取り崩しなどで補てんしました。

(※1) 損益勘定留保資金

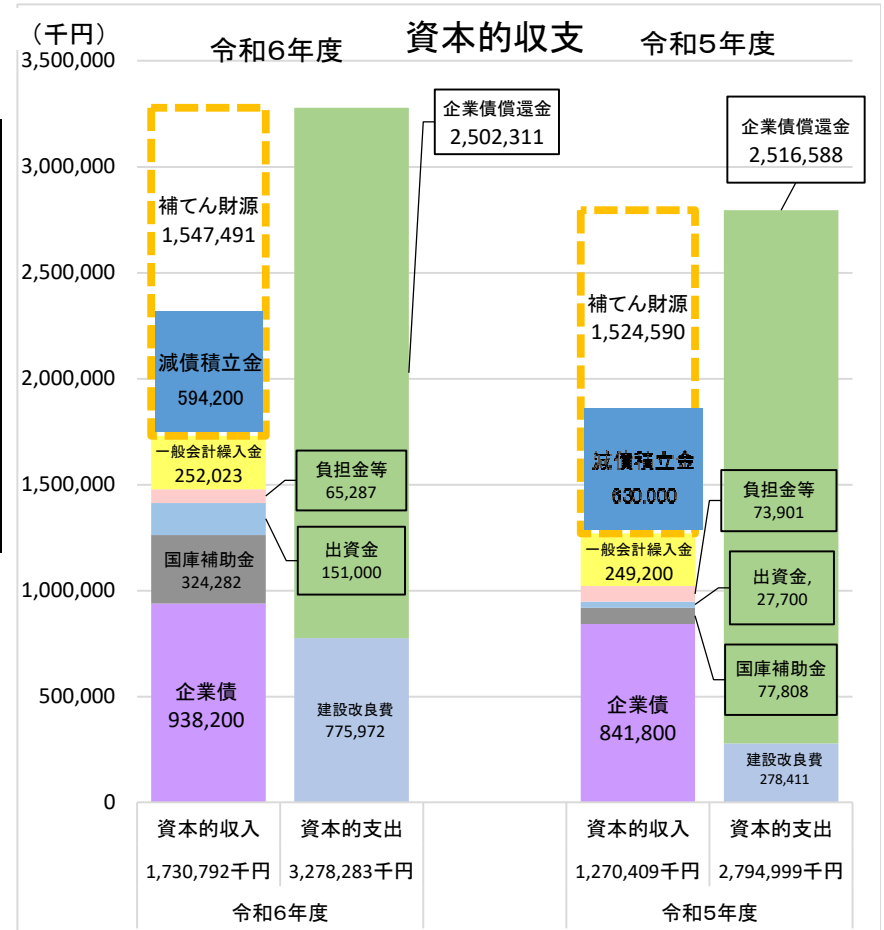
施設の減価償却費などの現金の支出を必要としない企業内部で留保される資金

(参考) 一般会計繰入金収入額の比較 (決算書 43ページ、50ページ、57ページ、59ページ)  
(一般会計負担金) (千円)

	令和6年度	令和5年度	増減
一般会計繰入金合計	1,316,864	1,841,797	△ 524,933
収益的収入	1,064,841	1,592,597	△ 527,756
資本的収入	252,023	249,200	2,823

※収益的収入グラフとの差額は生保減免分繰入金（営業収益）分です。  
(令和6年度 2,232千円、令和5年度 1,935千円)

	(千円)
基準内で繰入るもの	1,313,856
基準外で繰入るもの	776
生保減免分繰入金	2,232
上記合計	1,316,864



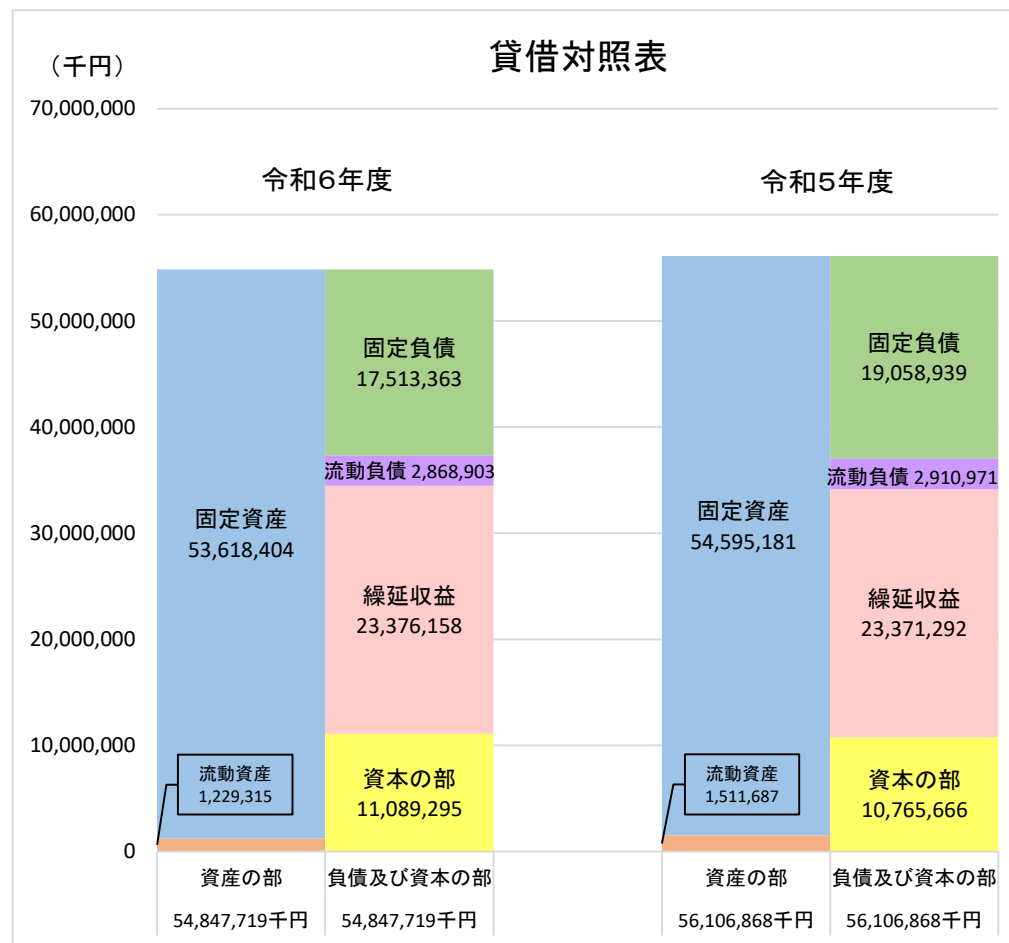
#### 4 貸借対照表（決算書 47～48ページ）

財政状態を表し、保有している財産や、抱えている借入金の状況などを明らかにしています。

(千円)

	令和6年度	令和5年度	増減
資産	54,847,719	56,106,868	△ 1,259,149
固定資産	53,618,404	54,595,181	△ 976,777
流動資産	1,229,315	1,511,687	△ 282,372
うち現金	652,282	1,345,892	△ 693,610
負債	43,758,424	45,341,202	△ 1,582,778
固定負債	17,513,363	19,058,939	△ 1,545,576
うち企業債	17,513,363	19,058,939	△ 1,545,576
流動負債	2,868,903	2,910,971	△ 42,068
うち企業債	2,483,776	2,502,311	△ 18,535
繰延収益	23,376,158	23,371,292	4,866
資本	11,089,295	10,765,666	323,629
資本金	9,924,973	9,143,973	781,000
剰余金	1,164,322	1,621,693	△ 457,371
資本剰余金	397,447	397,447	0
利益剰余金	766,875	1,224,246	△ 457,371
負債＋資本 計	54,847,719	56,106,868	△ 1,259,149

企業債残高が199億9,713万9千円で、負債合計の約45%を占めています。また、前年度決算で取り崩した減債積立金及び出資金の組入れ等により資本金は7億8,100万円増加しました。





## 5 キャッシュ・フロー計算書（決算書 58ページ）

1年間の現金収入や現金支出を「業務活動」「投資活動」「財務活動」の3種類に区分けして、現金の流れを表します。

業務活動によるキャッシュ・フローでは、主たる業務活動に伴う現金の増減を表します。プラスになっていることが原則で、多いほど事業活動が順調と言えます。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、施設の整備や固定資産の取得に伴う現金の増減を表します。通常はマイナスとなります。

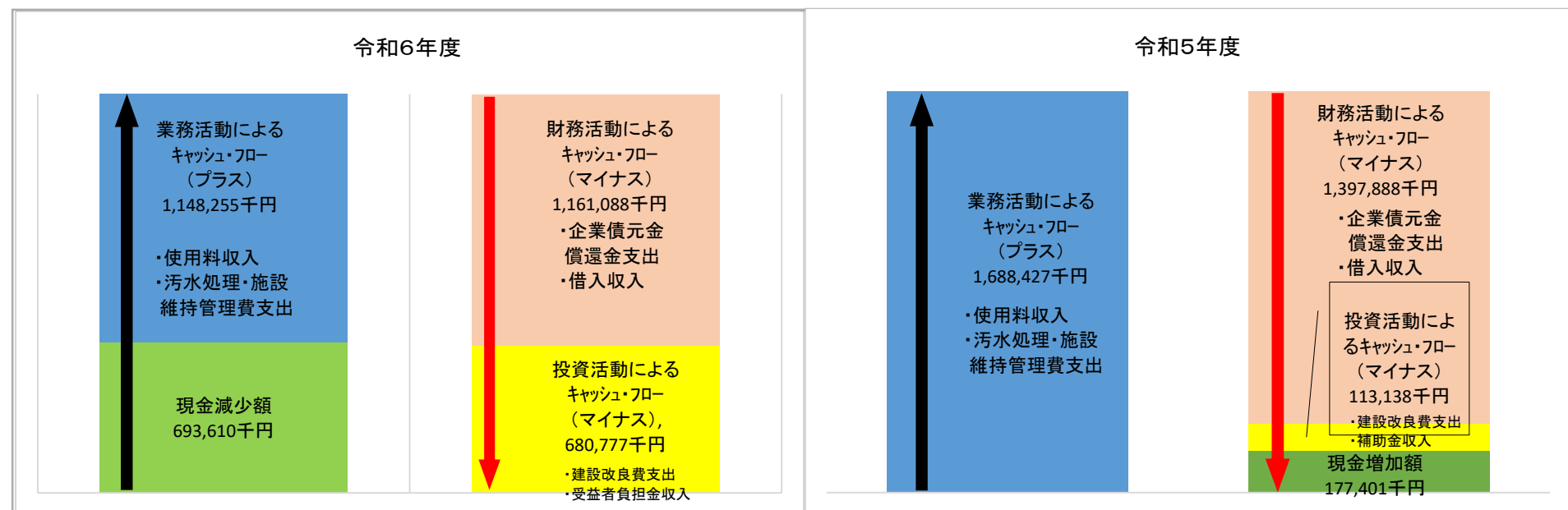
財務活動によるキャッシュ・フローでは、資金調達や企業債の償還に伴う現金の増減を表します。企業債を償還した場合はマイナス、借入れた場合はプラスとなります。

(千円)

	令和6年度	令和5年度	増減
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,148,255	1,688,427	△ 540,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 680,777	△ 113,138	△ 567,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,161,088	△ 1,397,888	236,800
現金増減額	△ 693,610	177,401	△ 871,011
現金期首残高	1,345,892	1,168,491	177,401
現金期末残高	652,282	1,345,892	△ 693,610

業務活動による現金は、11億4,825万5千円で一般会計からの繰入金の見直しに伴い純利益が減ったため減少しましたが順調な経営となっています。

投資活動による現金は、建設改良費の増加により6億8,077万7千円のマイナスとなりました。財務活動による現金は、企業債の償還などにより11億6,108万8千円のマイナスとなりました。現金の期末残高は、6億5,228万2千円で、6億9,361万円の減となりました。

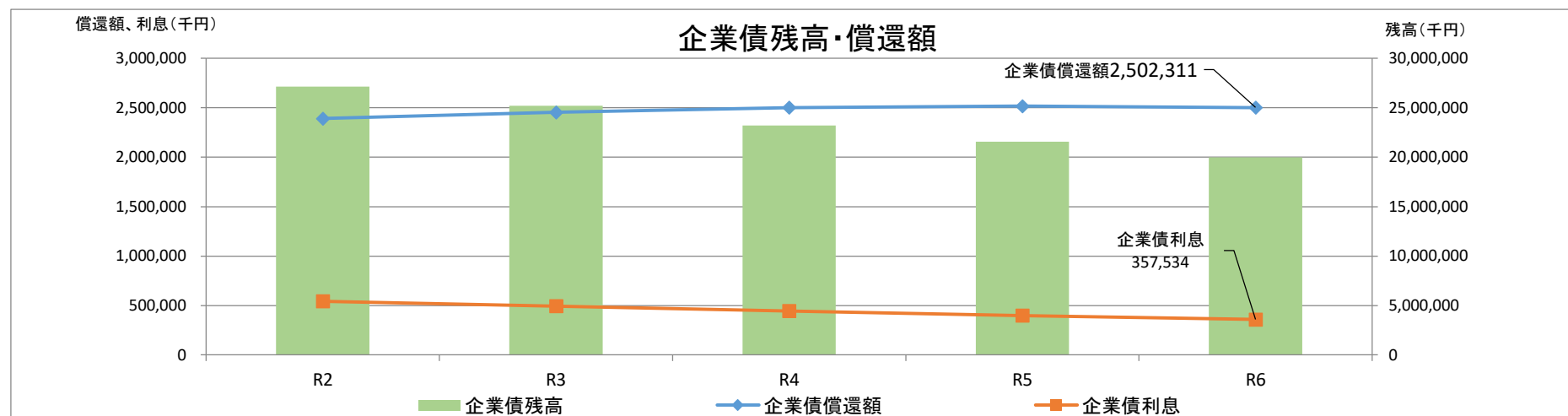


## 6 企業債（決算書 44ページ、57ページ、62ページ、64～71ページ）

(千円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年度末残高	27,150,353	25,195,705	23,220,038	21,561,250	19,997,139
借入額	480,600	498,800	525,800	857,800	938,200
うち資本費平準化債	362,100	400,000	491,000	684,000	655,000

令和6年度は、下水道事業債2億8,320万円と資本費平準化債6億5,500万円を借りました。  
一方で、25億231万1千円の元金償還により、年度末の企業債残高は199億9,713万9千円となりました。  
また、企業債利息として3億5,753万4千円を支払いました。



## 7 利益剰余金（決算書 45～46ページ）

(千円)

前年度からの繰越利益剰余金 A	46
当年度変動額 B	766,828
当年度純利益	172,628
積立金の取り崩し	594,200
当年度末処分利益剰余金 (C=A+B)	766,874

当年度末処分利益剰余金は、前年度繰越額4万6千円と当年度純利益1億7,262万8千円、資本的収支の不足額を補てんするために減債積立金を取り崩した5億9,420万円の合計7億6,687万4千円となりました。

利益剰余金処分(案)

(千円)

減債積立金の積立	△ 172,650
資本金への組入れ	△ 594,200
処分額 計 D	△ 766,850

(千円)

翌年度への繰越利益剰余金 (E=C-D)	24
----------------------	----

剰余金の処分は、市議会での認定議決を受けて実行します。

当年度の利益は、企業債償還の財源に充てるため、減債積立金へ積立てます。

## 令和6年度に下水道事業で実施した主な取組みについて

### 豊かな自然環境を守る（下水道の効率的な整備）

#### 「汚水処理の広域化・共同化の推進」

下水道サービスを継続かつ安定的に提供するため、「汚水処理区域の広域化」、「汚水処理施設の共同化」を推進し、効率的かつ効果的な事業運営に向けて取り組んでいます。

令和6年度は以下の工事等を行いました。

#### ●工事

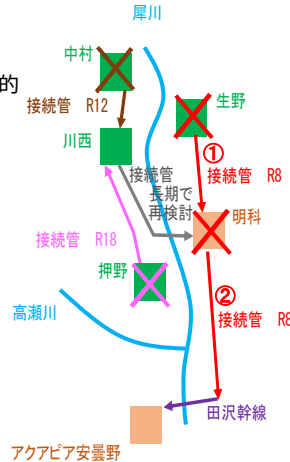
- ①接続管 L=702m、マンホールポンプ場 1機場
- ②接続管 L=320m、マンホールポンプ場 2機場
- 道路占用路面復旧 L=761.1m

#### ●委託業務

- ①、②工事の施工監理業務

#### ●補償費

- 接続管工事に伴う上水道補償



### 健全で持続可能な事業運営（広聴・広報手段の拡充）

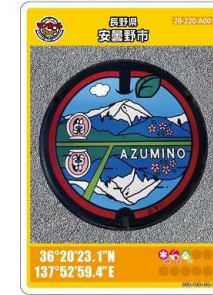
#### 「マンホールカード」

マンホールカードは、下水道への関心を高めてもらうことを目的に作られたコレクションカード。このカードは、全国各地のマンホールを巡りながら、楽しく、また、下水道の大切さや地域の知ってもらうために作られました。

#### 「『みずかがみ(水鏡)』」

このマンホール蓋は、「澄んだ水」、「広がる田園風景」、「雄大な常念岳」を題材としたデザインです。

そんな自然と文化が「ギュッと」詰まったカードを、平日は下水道課窓口、休祝日は庁舎管理室にて無料配布しています。



●工事請負費 C=339,933千円

●補償費 C=24,395千円

●委託料 C=11,103千円

●印刷製本費 C=99千円

### 安全で安心な暮らしの実現（計画的な維持管理）

#### 「下水道施設維持管理」

処理場5施設及びマンホールポンプ場162箇所、管きょ856kmの適切な運転管理と施設の維持に取り組み水環境の保全に努めました。



管路自走式カメラ調査  
L=1,521m実施



管口カメラ調査 巡視点検  
293箇所実施 L=62,156m実施

#### 地震（震度6弱）発生を想定した伝達及び被災シミュレーション訓練状況 実施日：令和7年3月13日



計器類確認

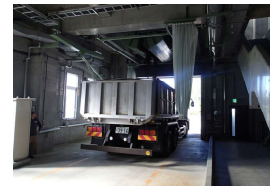


放流水確認



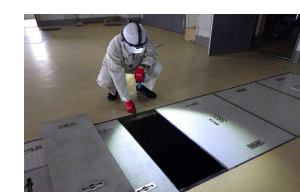
伝達訓練

#### 脱水ケーキ搬出状況



汚泥処分量1,399t 脱水ケーキ処分量300t

#### 施設維持管理作業状況



●維持管理費 C=182,822千円

委託料：154,946千円

汚泥処分費：15,465千円

修繕費：12,411千円